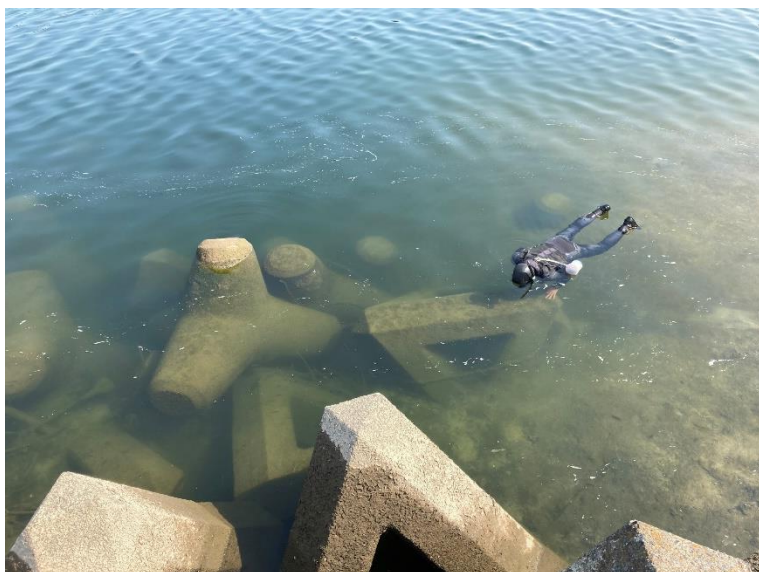


令和4年度における太田川再生方針に基づく 取組の成果及び今後の方針について

議題4
資料6



令和4年度 天然アユ遡上数推定調査について(5月末)



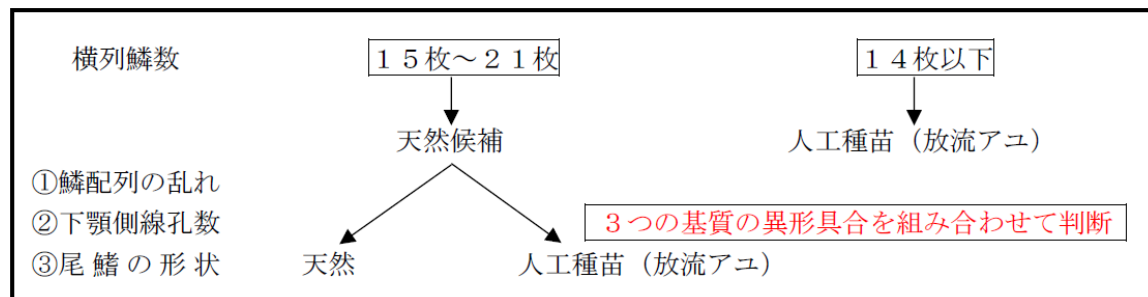
潜水目視調査



由来判別調査



由来判別調査(鱗の計数)



判別基準

- ・潜水調査により生息数を推定
- ・コロガシ釣りで採捕したアユの由来判別により天然率を算出



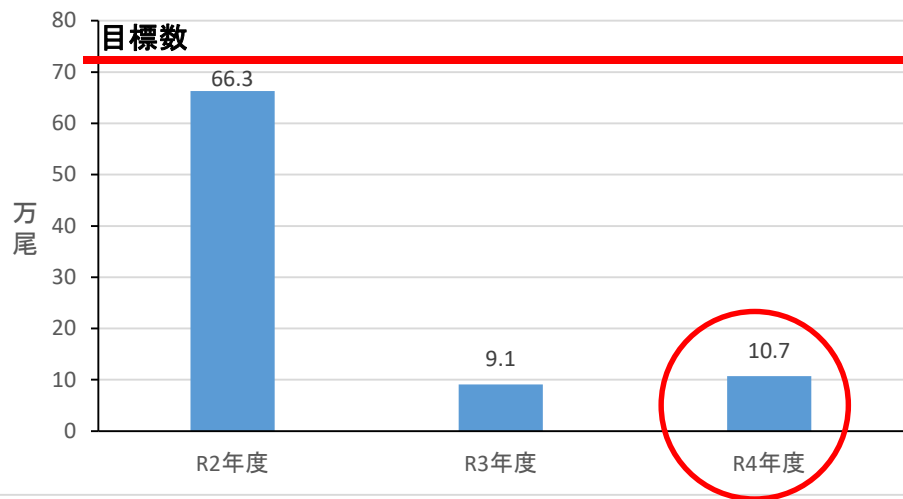
天然アユ遡上数

令和4年度の天然アユ遡上数推定調査結果について(5月末)

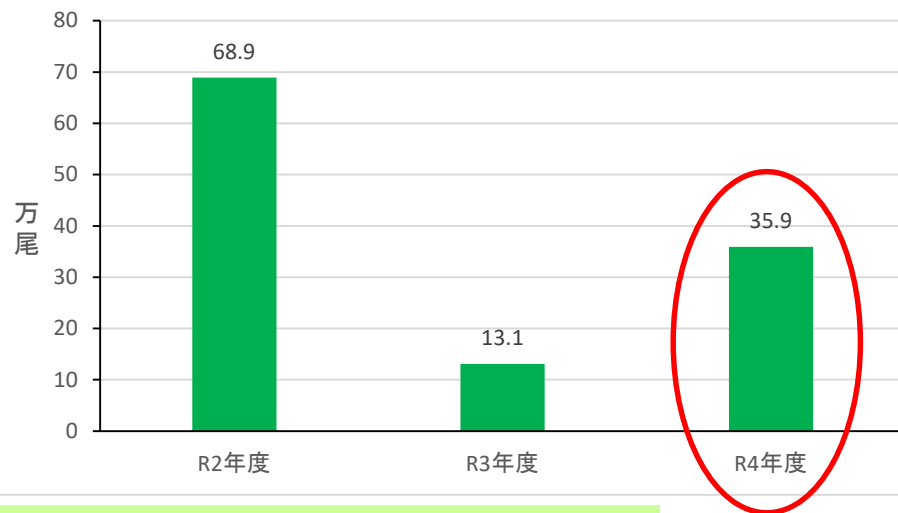
平成30年度第2回太田川産アユ・シジミの資源再生懇談会

太田川再生方針に基づく、アユを増やす取組の目標数を検討し、太田川本川の天然アユの遡上目標数を、71万尾と設定

天然遡上数



生息数(天然+人工)



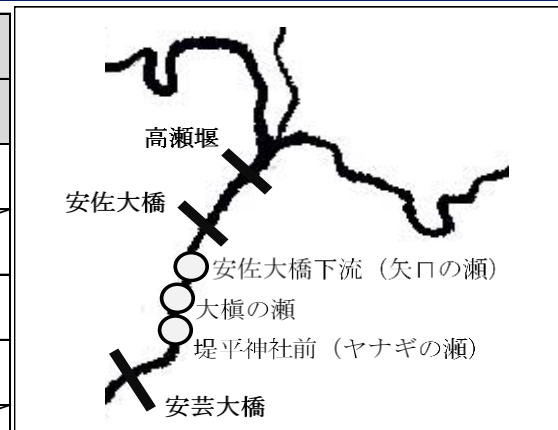
令和4年度推定天然遡上数は10.7万尾であった。

令和4年度は、令和3年度に続き遡上目標数を達成できなかった。

令和4年度のアユの産卵状況の調査結果について(10~12月)

旬	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	測定日	水温(℃)	測定日	水温(℃)	測定日	水温(℃)
上旬	10/1	-	10/2	24.1	10/3	19.5
	10/6	-				
中旬	10/13	19.2	10/11	23.0	10/13	19.5
	10/20	18.1	10/19	19.1	10/20	17.5
下旬	10/27	16.2	10/29	18.0		
上旬	11/2	16.6	11/5	17.6		
	11/10	15.5				
下旬	11/22	13.8				
	11/30	13.3				
上旬	12/7	10.5				
中旬	12/15	8.7				

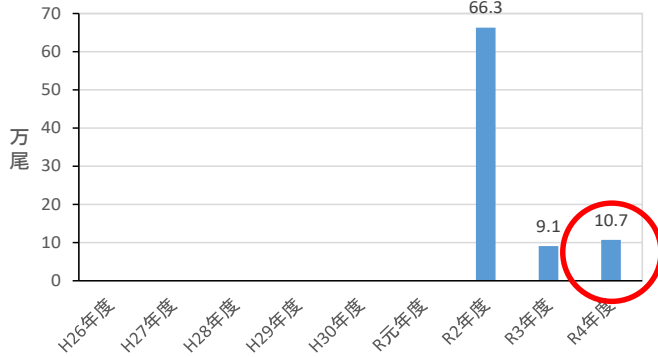
：産着卵確認日



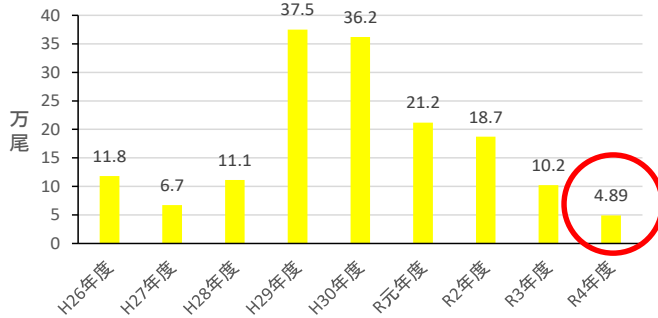
令和4年度は目視により産着卵を確認することはできなかった。

まとめ

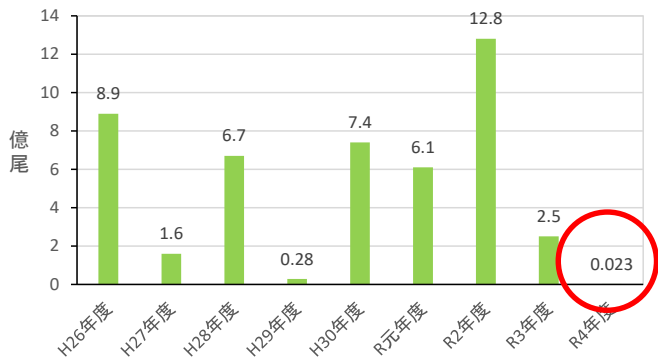
推定天然遡上数



漁協採捕尾数
(組合員・遊漁)



推定流下仔魚数



太田川水系太田川(飯室観測所付近) 平常時



9月19日 14時頃



2日間で合計約140mmの雨

国土交通省 9月22日 記者発表資料

—令和4年度の太田川の状況—

- ・天然遡上数が少なかった。
- ・漁獲尾数が少なかった。
- ・9月末に出水があった。

産卵数が少なく、流下仔魚の減少に影響した可能性も考えられるが、はっきりとした原因は不明。

(参考)他の河川の状況

山口県榎野川:天然遡上数が少ない。

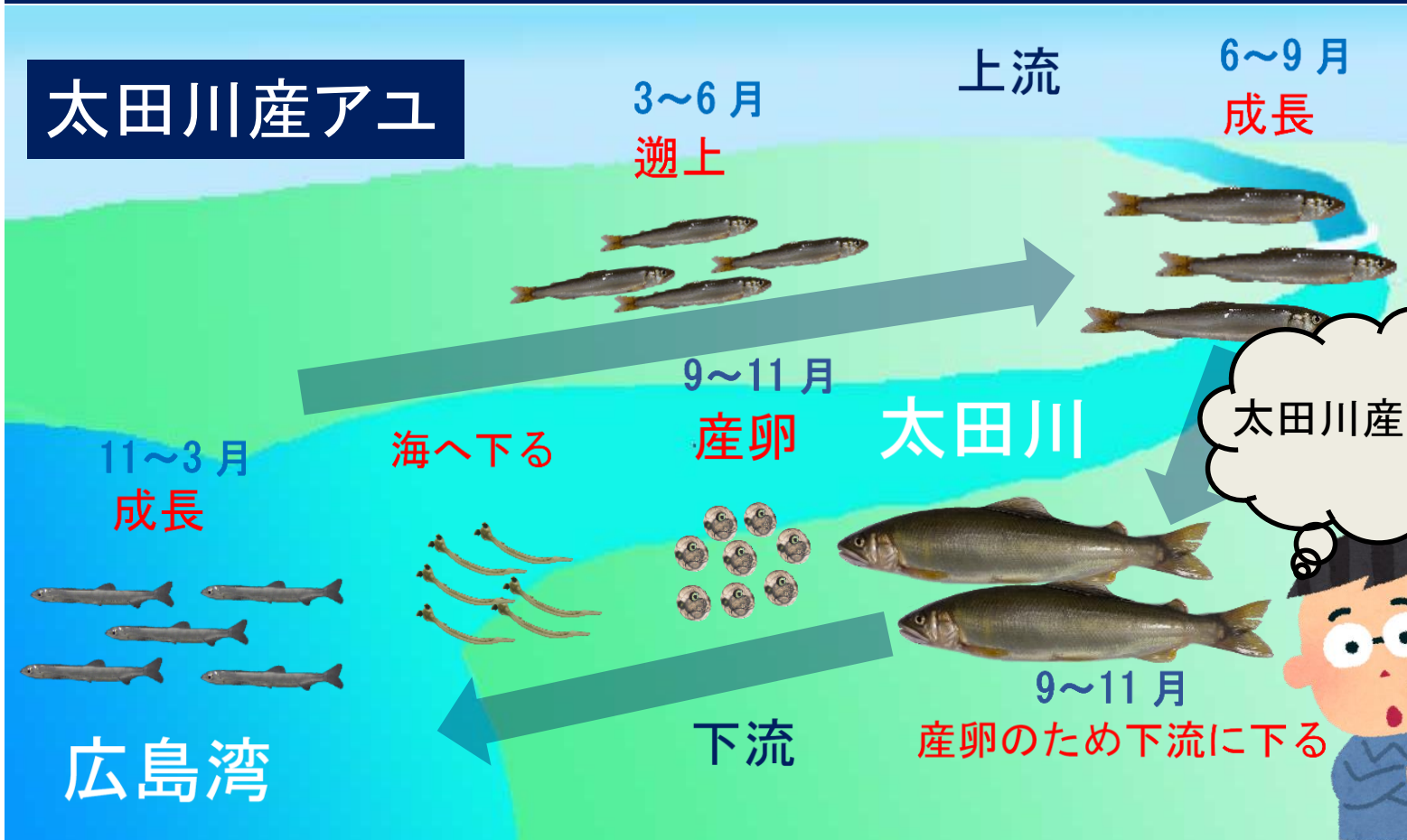
出水により、川を下る時期が早すぎた。

山口県錦川:天然遡上数が少ない。

産卵も少ない。

太田川産アユの認知度向上に向けた取組について

太田川産アユ



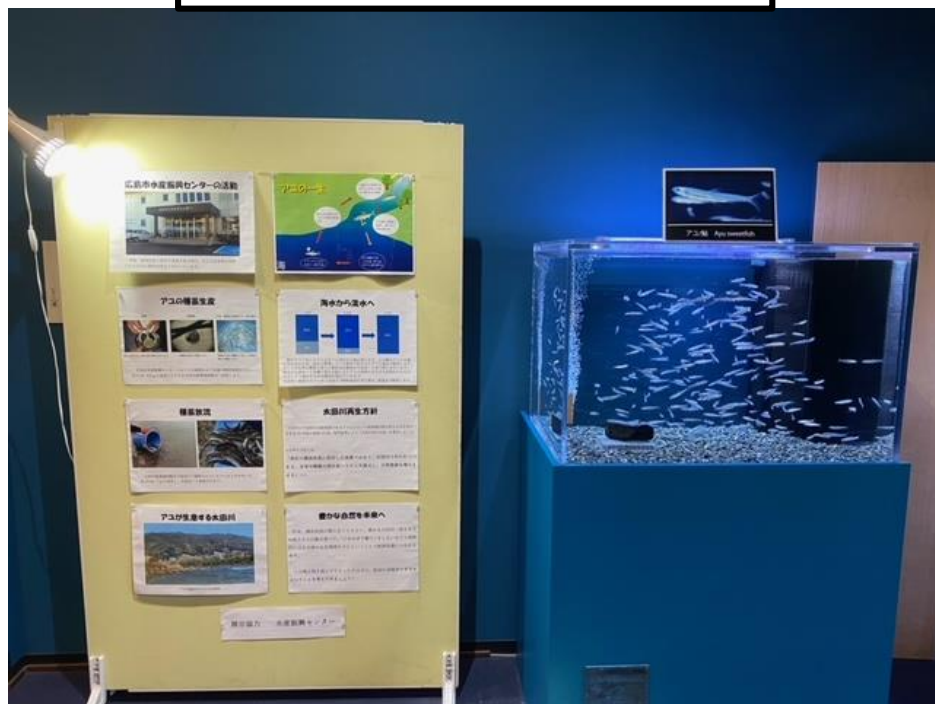
太田川産アユの認知度向上を目指した。

太田川産アユのPRを実施。

太田川産アユの認知度向上に向けた取組について

太田川産アユのPR

マリホ水族館の取組



水族館でのアユの展示

太田川漁協の取組



公民館での体験型のアユの講座

太田川産アユの認知度向上に向けた取組について

太田川産アユ

太田川漁協の取組

成長

3~6月
遡上

太田川

9~11月
産卵

海へ下る

11~3月
成長

広島湾

下流

9~11月
産卵のため下流に下る

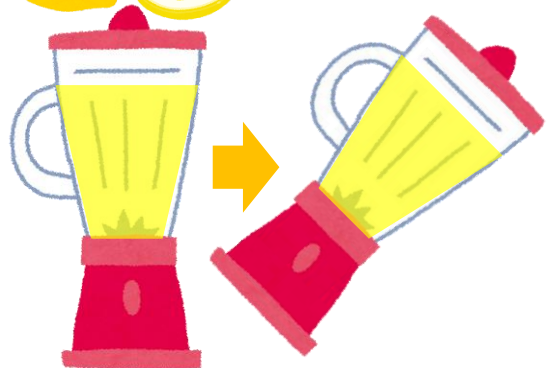
太田川産アユ?

太田川産アユの認知度向上、消費拡大等を目指した。

他産地養殖アユとの差別化

新ブランド「レモンアユ」の立ち上げ。

レモンアユとは

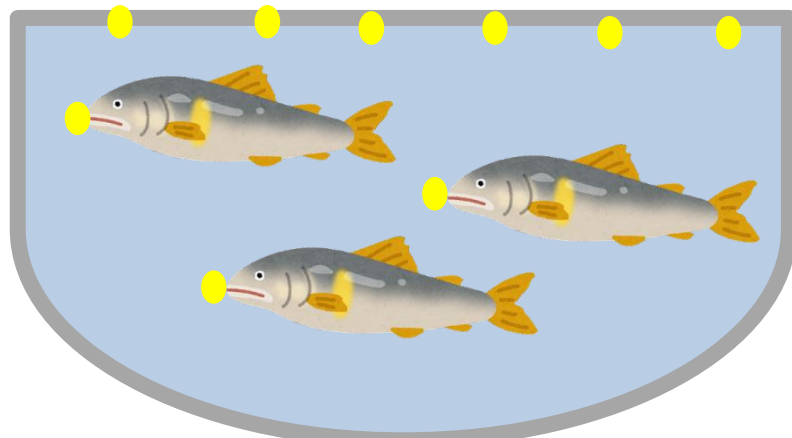


太田川漁協

レモンをすり潰す



餌に混ぜる



アユに与える



広島大学

リモン[※]の蓄積の確認

※レモン由来の成分



レモンアユ

レモンアユの販売

今夏 限定販売

販売日:8/10~8/13

新ブランド

レモンアユ

※商標登録申請中

広島県産レモンをまるごとエサに使い
恵み豊かな太田川の水で育てました

太田川漁業協同組合

レモンアユの販売



広島市中央卸売市場水産部
魚食普及委員会の仲卸業者



スーパー等でのレモンアユフェアの開催

レモンアユの販売



太田川漁業協同組合



イベント等でのレモンアユの塩焼きの販売

広島市立広島中等教育学校（安佐北区）の放送部が、レモン果汁入りの餌を与えて養殖した太田川漁協（同）の「レモンアユ」をテーマにしたドキュメンタリー映像を作り、県高校放送文化コンクールで最優秀賞を受けた。新たなブランドアユを育て、その魅力を発信する漁業者たちの思いに迫っている。（重田広志）

レモンアユの映像作品 栄冠



最優秀賞を受けて喜ぶ奥田さん（左端）たち



「新広島ブランドレモン鮎」の一場面

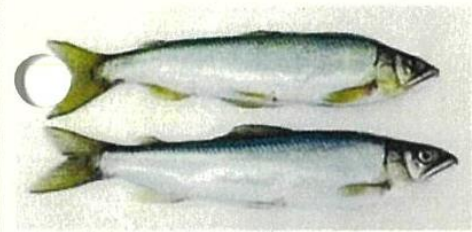
レモン鮎を続けていく。ブランドにする

漁業者の取り組み紹介

安佐北の広島中等教育学校放送部が最優秀賞

受賞作は4分半の「新広島ブランド レモン鮎」。8月に1匹500円程度で広島市内の店頭に並んだものの売れ行きがいまひとつで、「値段が高い」といった買い物の声があることとを伝え、ブランドを作り出す難しさを浮き彫りにしている。

受賞作は4分半の「新広島ブランド レモン鮎」。8月に1匹500円程度で広島市内の店頭に並んだものの売れ行きがいまひとつで、「値段が高い」といった買い物の声があることとを伝え、ブランドを作り出す難しさを浮き彫りにしている。



胸や尻のひれが黄色に色づいたレモンアユ①と、通常の養殖アユ

生徒が、学校のある可部地域の川魚に興味を持って作り始めた。近年はアユの漁獲が減り、魚を食べない人が増えて苦悩する水産関係者の声も聞いたという。動画編集を担当した奥田陽菜さん（16）は「レモンアユには太田川に関わる多くの人たちの思いが詰まっている。知名度を高められるように私たちも発信に協力したい」と話している。

長期的な方策の取組の結果

	H29～R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
高瀬堰の試験的運用 内容：夜間の放流量を増やし、高瀬堰下流でふ化したアユ仔魚の流下を促進する。	運用時間：20時～4時 明確な効果は認められなかった。	濁水のため実施できなかった。 (運用予定時間：18時～0時)	運用時間：18時～0時 明確な効果は認められなかった。	濁水のため実施できなかった。 (運用予定時間：18時～0時)
祇園・大芝水門の試験的運用 内容：祇園水門のゲートを30cmから60cmに変更し、アユ仔魚の成育に適しているとされる太田川放水路(祇園水門側)への流量を増やす。		2回実施した試験のうち1回について、祇園水門側に多くの仔魚が流下する傾向が見られた。	明確な効果は認められなかった。	流下仔魚数が少ないため、比較することができなかった。

【高瀬堰の試験的運用について】

- ・H29年度からR元年度までの運用は、アユ仔魚の流下のピークである時間帯(19時～21時)に合致しない場合があることが考えられた。
- ・R2年度から、アユ仔魚の流下ピークである時間帯に合致する運用時間に変更したが、濁水により実際に運用できたのは令和3年度のみとなっている。
- ・R3年度は明確な効果は認められなかった。

【祇園水門の試験的運用について】

- ・R2年度は2回実施した試験のうち1回について、祇園水門側に多くの仔魚が流下する傾向が見られた。
- ・R3年度は明確な効果は認められなかった。
- ・R4年度は流下仔魚数が少ないため、比較することができなかった。

今後の方向性について

1 令和5年度

平成30年度に決定した計画に基づき、各方策を実施する。また、令和5年度までの結果の取りまとめを行い、令和6年度以降の各方策の実施の継続や追加検証の必要性について検討する。

2 令和6年度以降

令和5年度の検討結果を踏まえた内容について取り組む。